

原文	修正文
<p>いっぽう、中国政府は、1928年、日本をふくめた各国との不平等条約の無効を一方向的に通告できるとする方針をかかげ、これを革命外交と称した。このため日本では軍部を中心に、国際協調の精神で中国に対処するのはむずかしいと考える人もあらわれ、幣原の外交を軟弱外交として批判する声が強くなった。</p> <p>革命外交と日本との関係について、説明不足で理解し難い表現である。</p>	<p>しかし、中国の排日運動はおさまらなかった。日本では軍部を中心に、中国に対する内政不干渉政策^{ふかんしやう}で対処するのはむずかしいと考える人もあらわれ、幣原の外交を軟弱外交として批判する声が強くなった。</p>
<p>89番の関連修正(「革命外交」の単語がなくなったため)</p> <p>p.230 事項さくいん <u>革命外交</u>……194</p> <p>p.195 囲み 中国の革命外交に対する幣原喜重郎の見解</p>	<p>削除</p> <p>削除</p>